

## 目標茎数を確保したら、早めの中干し！ 葉いもちの発生に要注意！早期発見・早期防除！

6月5日に平年より7日早く梅雨入りしましたが、梅雨入り後、気温は平年並み～高め、日照時間、降水量は平年並み～やや少なく経過しています。

6月20日現在の生育は「草丈：平年並み～やや長い」、「茎数：多い」、「葉数：平年より3日程度早い」、「葉色：平年並み～やや濃い」状況です。乾土効果の影響もあり、葉色が濃く、生育旺盛な草姿となっているほ場が多くみられます。目標茎数が確保されたら、直ちに作溝・中干しを行い、気象変動に強いイネづくりを行いましょう。

### 6月20日の生育状況(普及課生育診断ほ)

平坦部 (川西町)		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき	本年	34.8	593	8.2	40.7
	前年	39.2	514	8.2	46.9
	平年	33.8	420	7.5	41.7
	平年比	103	141	0.7	-1.0

平坦部 (飯豊町)		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき	本年	43.8	647	9.0	45.2
	前年	42.7	473	9.0	46.6
	平年	35.8	476	8.2	43.1
	平年比	122	136	0.8	2.1

平坦部 (川西町)		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫 ( )	本年	32.7	436	7.6	42.3
	前年	42.9	552	8.2	46.6
	平年	35.8	420	7.5	42.0
	平年比	(91)	(104)	(0.1)	(0.3)

平坦部 (飯豊町)		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	本年	36.6	506	8.5	44.3
	前年	44.3	422	8.9	45.6
	平年	36.5	435	7.9	40.6
	平年比	100	116	0.6	3.7

本年からほ場が変わっています。

### 早めの作溝・中干し！ しっかり穂肥のできる稲姿に

現在、有効分げつが決定する8葉期に達している状況です。右の表を参考に、目標とする茎数を確保したら、速やかに作溝・中干しを行い、しっかりと穂肥のできる稲を作りましょう。

つや姫は中干しが遅れると食味タンパクが高くなる傾向があります。

表 品種別の目標茎数の目安

品種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株	80株
はえぬき	22～24本	19～21本
つや姫	19～21本	17～19本
ひとめぼれ	23～25本	20～22本
あきたこまち	21～23本	18～20本

まだ茎数が確保されていないほ場では、浅水管理を継続し、分けつの発生を促しましょう。

高温によりワキが発生しているほ場では直ちに水交換や一時的な落水管理で対応しましょう。

	60株	70株
コシヒカリ	21~23本	19~21本

### 中干しのポイント

作溝・中干しをタイミングよく行うことにより、右のような効果が得られます。  
中干しは小ヒビが入る程度を目安とし、葉色が濃いほ場では強めの中干しを行いましょ。中干し終了後は、走り水で飽水管理した後、徐々に間断かん水(2日湛水・2日落水)に切り替え、根の活力維持に努めましょ。

酸素供給による根の活力向上

土壌窒素の中断

無効分けつを抑える

間断かんがいの効率化

地耐力の向上

### いもち病に要注意！！ 早期発見・早期防除！

置き苗でのいもち病の発生が確認されています。置き苗は早急に処分ましょ。

直播き栽培等でまだ予防粒剤を散布していない場合には、速やかに散布を行いましょ。

梅雨時期はいもち病の感染に好適な日が多くなります。水管理を行う際には、しっかりほ場の観察を行い、早期発見・早期防除に努めましょ。

葉いもちを抑えることが穂いもちを抑える1番の対策です。

葉いもち注意



### 斑点米カメムシ対策 発生源の密度を減らす！

病虫害防除所の巡回調査結果ではアカスジカスミカメの発生がやや多い状況です。

アカスジカスミカメの確認地点率：

57.1% ( 平年：18.8% )

7月までに地域全体のカメムシの密度を減らすことが重要です。畦畔・農道、雑草地の草刈を地域ぐるみで行い、生息密度低下に努めましょ。また、水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源にもなるので、残草対策もしっかり行いましょ。

地域ぐるみの

一斉草刈りで密度を減らす！



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ



アカスジカスミカメ

### 残草対策

翌年の発生源となる種子や塊茎を作らせないことが大切です。残っている雑草の種類(ヒエ、広葉)を確認し、早めに薬剤による防除を行いましょ